

2008年10月03日

エジプトでストリートチルドレン保護施設設置プロジェクトを開始

今般三菱商事は、エジプトにてオラスコム・テレコム社 (Orascom Telecom Holding S. A. E) と共同で、ストリートチルドレン救済の為のプロジェクトを支援することと致しました。エジプトでは、ストリートチルドレンの増加が大きな社会問題となっており、わが社及びオラスコム・テレコム社は、地元の慈善事業団体への資金援助により、ストリートチルドレンを対象とした保護・社会復帰支援施設開設のための土地・建物を新たに購入します。具体的には、オラスコム・テレコム社 (約 2000 万円) と当社 (約 1200 万円) が、エジプトの NGO であるカリタスエジプトに寄付、カリタスエジプトがイスマイリア地区に更正施設を購入し、運営致します。本更正施設は、ドロップアウトした子ども達の創造的な教育、更正プログラムを持ち、専門のソーシャルワーカーも同プログラムに参加を予定しています。

当社は、企業の社会的存在としての責任を果たすべく、社会の持続可能な発展や成長を目指した事業を展開していきます。

<オラスコム・テレコム社について>

エジプトの携帯電話最大手。エジプトの他、アルジェリア、チュニジア等で通信事業を手がける。

<エジプトのストリートチルドレン問題について>

エジプトでは増加するストリートチルドレンが深刻な社会的問題となってきています。ストリートチルドレンは常に危険な環境での生活を強いられる他、不衛生な生活環境から健康上の問題も発生しています。

以 上